

経営理念

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより 世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

「病を癒す…それは主義や国境を越えるもの。どんなに情熱を注ぎ込んでも悔いはない。」このような創業時のゆるぎない信念の下、日本光電は経営理念の実現を目指し、ヘルスケアの課題に対し、革新的で高品質な医療機器で解決すべく挑戦してきました。これまでに開発した医療機器は、世界120ヵ国以上の医療現場でお使いいただき、多くの患者さんを救っています。



創業時の12名のメンバー



創業者 荻野 義夫

2021年8月で創立70周年を迎えた日本光電は、「医療現場に根差した技術開発力」「国内外の幅広い顧客基盤」「高品質の製品・サービスとそれを支える開発・生産・販売・サービス体制」「長年にわたって培われたブランド力」という強みを活かし、これからも病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦し、世界に貢献する企業として、患者さんや医療従事者にとっての価値を創造・提供し続けます。

日本光電の軌跡


日本光電は1951年8月の創業以来、革新的な医療機器の提供を通じてヘルスケアの課題に挑戦し、社会に貢献することで、着実に成長してきました。



人と医療の
より良い未来を創造する


1951年12月
世界初の全交流直記式脳波装置 ME-1Dを発売
世界を変える脱・電池
交流電源駆動式の脳波計が誕生

当時の脳波装置のほとんどは、交流雑音障害をさけるため、電池を電源とした輸入品であったことから、検査の途中で電池がなくなり記録が途切れ、大切な脳波の現象記録を取り逃がしてしまったり、電池そのものの保守に問題がありました。日本光電では雑音障害の低減、操作性の改良などを行った、世界初の全交流直記式脳波装置を開発することで、適切な脳波検査の実施と検査結果の提供を可能とするとともに、患者さん、医療従事者の負荷軽減に寄与しました。




1967年4月
日本初の重症患者監視装置 ICU-80を発売
複数の患者さんのバイタルサインを集中管理
自社初のシステム製品を発売

重症患者監視装置は、ナースステーションに監視制御デスクを設置し、患者さん（最大8名）のベッドサイドに監視ユニットを設置することで、脳波、心電図、血圧、心拍数、呼吸数、体温の集中管理と記録を実現しました。これにより、ナースステーションにおいて患者さんの容態変化の把握や、バイタルサインの記録を可能とし、医療の質・安全性の向上、医療従事者の負荷軽減に寄与しました。



2020年12月
「パルスオキシメータの開発と実用化」により
「第4回日本医療研究開発大賞／内閣総理大臣賞」を受賞

1974年3月29日、青柳卓雄（2020年4月18日逝去）らは、パルスオキシメータの原理に関する特許「光学式血液測定装置」を出願し、1979年に日本光電が国内特許を取得しました。パルスオキシメータは、動脈血中の酸素飽和度SpO₂を採血せずに非侵襲かつ連続的に測定できるため、世界中の医療現場で患者さんの病態把握のために欠かせないものとなっています。また、新型コロナウイルス感染症の軽症・無症状者の低酸素症を的確に把握し、重症化する前に適切な処理をするために、世界中でパルスオキシメータの有用性が再認識されていることから、本賞を受賞しました。



1970年度
売上高 **44** 億円

2000年度
売上高 **667** 億円
国内売上高 **594** 億円
海外売上高 **73** 億円

2020年度
売上高 **1,997** 億円
国内売上高 **1,372** 億円
海外売上高 **624** 億円

1950年代 | 1960年代 | 1970年代 | 1980年代 | 1990年代 | 2000年代 | 2010年代 | 2020年代

1952年3月
世界初の電気眼底（脳内）血圧計 MOB-1を発売



1955年6月
世界初の電子管記録式心電計 MC-1Cを発売




1960年9月
日本初の多用途監視記録装置（ポリグラフ）RM-150を発売



1965年8月
日本初の直流式心室細動除去装置（デフィブリレータ）MDV-1を発売



1974年3月
世界初となるパルスオキシメータの原理に関する国内特許を出願



1976年11月
世界初のテレメータ患者監視装置 WEP-6000を発売



1984年2月
世界初のオールテレメータ化分娩監視装置 OMF-7201を発売




1985年4月
世界初の呼吸総合モニター OMR-7101を発売




1990年12月
日本初のデジタル心電図テレメータの医用テレメータ WEP-8430／8440を発売



1991年3月
世界初のデジタル・マルチパラメータテレメータ式ベッドサイドモニター BSM-8502を発売



2003年5月
世界初のメインストリーム式で気管挿管していない患者さんに使用できるCO₂センサを発売



2009年6月
国産の自動体外式除細動器 AED-2100を発売




2018年8月
世界初の超音波プローブと接続してエコー画像を表示できる中位機種ベッドサイドモニター CSM-1700を発売



2019年6月・9月
自社製の人工呼吸器 NKV-330、NKV-550を発売



2020年10月
コンパクトデザインながら最大6人までモニタリング可能な医用テレメータ WEP-1200を発売



2020年11月
世界初の全自動血球計数・赤血球沈降速度測定装置 MEK-1305を海外で発売

